

- 新長田に復興のシンボル鉄人28号現る！(P.1)
- 平成21年度こうべまちづくり学校(専修講座)／山麓リボンの道ウォークラリー (P.2)
- 西出・東出・東川崎の空間形成③ (P.3)
- 発信！まちセン研究ネット⑤ (P.4) ほか (P.4)

発行：神戸市立 こうべまちづくり会館

バックナンバーはこちら <http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp/matisen/>

新長田に復興のシンボル 鉄人28号 現る！ ～神戸鉄人プロジェクトの取り組み～

阪神淡路大震災で甚大な被害を受けた神戸市長田区。新長田駅の南西の若松公園内に、鉄人28号のモニュメントが完成し、10月4日に記念式典が盛大に開催されました。地域の方々が取り組むプロジェクトで、これほど全国的に注目を集めるのは、最近では珍しいことです。



現在、完成したモニュメント周辺の公園整備が急ピッチで進められています。観光客をはじめ多くの方々が、鉄人を一目見ようと新長田を訪れています。

新長田のまちは、再開発により新しいまちに生まれ変わりましたが、今も下町の風情を残しています。皆さんも、一度新長田のまちにお越しいただき、まちの魅力を発見していただきたいと思います。

神戸鉄人プロジェクトの取り組み

神戸鉄人プロジェクトは、新長田地区に巨大モニュメントを建設し、来街者を増やすとともに、まちの回遊性を高め、商業をはじめとする地域の活性化を図ろうと、地元商店主らが取り組みを始めた民間プロジェクトです。「鉄人28号」だけではなく、その作者・故横山光輝氏のもうひとつの代表作である「三国志」も活用した、地域活性化事業です。

これまでも、NPO法人と地元が中心となって、三国志特別展や、子供たちによる「三国志ねぶた巡行」をメインにした三国志祭の開催等に取り組み、国道2号以南の商店街には三国志の登場人物のモニュメントが順次設置されています。今年の8月からは商店街に設置されている三国志バナーを活用したスタンプラリーが定期的に行われているほか、三国志祭や琉球祭など、さまざまなイベントも地元の祭として定着

し、新たな地域文化を生み出しています。



神戸市でも「神戸市(新長田地区)中心市街地活性化基本計画」において、主要な事業の一つとして位置付け、同地区の活性化と神戸の市街地西部の新たな観光資源を生み出す取り組みとして、積極的に支援してきました。

交通局では「鉄人28号列車」「三国志列車」を運行するとともに、海岸線全駅で鉄人28号や三国志の名場面のステーションラッピングなどに取り組み、プロジェクトの活動を全面的に支援しています。



また、都市計画総局では、まちの賑わいづくりの観点から、回遊性の向上を図るため、21年11月末の完成を目指して「KOBE鉄人&三国志インフォメーションギャラリー」の整備を進めています。



昨年、阪神・淡路大震災復興基金の「まちのにぎわいづくり一括助成事業」として「街の回遊性向上事業」が補助採択され、モニュメントの完成を期に、地域全体に人の流れを作り出す「三国志のメッカ・新長田」の実現を目指しさらなる活動を展開していきます。

(都市計画総局経営管理課)

平成21年度 こうべまちづくり学校〈専修講座〉から

9月3日を皮切りに、「こうべまちづくり学校」専修講座が開講中です。今年は、全7コースに延べ223人の申し込みをいただきました。今回は、これまでの各コースの様子をいくつかご紹介します。



Aコース 地域活動のファシリテーション～よい話し合いのために身につけておきたいこと～ 第1回 9/10(木)

西 修 氏(ワークショップ研究会)／東末 真紀 氏(神戸まちづくり研究所)／松原 永季 氏(スタチオ・カタリスト)

「まちづくり活動のヒントをつかむ」 地域活動をすすめるうえで大事な「ファシリテーション」(話し合いを促進すること)の心得や技能を、参加型の体験学習や講義を通じて学びます。第1回は、「話し合いからヒントをつかむ(1)」として、グループでの話し合いを体験しました。



Bコース 「安全で安心なまちをつくる」防災コミュニティづくりコース 第2回 10/13(火)

林 春男 氏(京都大学防災研究所巨大災害研究センター教授)

「率先市民主義 防災ボランティア論」 地震、風水害など、防災についての専門的知識やその知識を地域の中で活かす方法を学びます。第2回は、防災の主役は市民であること、災害時における自助・共助の大切さについて学びました。



Cコース 「安全で安心なまちをつくる」防犯コミュニティづくりコース 第1回 9/15(火)

桐生 正幸 氏(関西国際大学人間学部教授)

「地域の防犯対策について」 犯罪にあわないために、地域・個人でどのようにすればよいか、近年の犯罪情勢を踏まえながら専門的知識を学ぶとともに、地域での防犯活動の取り組み方法を学びます。第1回は、犯罪心理学の見地から、地域の防犯対策について学びました。



Dコース まちなみゼミ 第2回 9/26(土)

中川 啓子 氏(ミル制作室主宰/魚崎在住)／野口 志乃 氏(いえ・まち・がーでん北野工作室)

「まち歩き 魚崎郷」 講義やまちあるきを通じて、まちの景観を特徴づける基本的な事柄や、まちなみに対して市民がどのような取り組みができるかを学びます。第2回は、酒蔵のまちとして名を馳せた「郷」の一つとして、往時のまちの面影を大切に、現代のまちづくり活動を実践する地域を訪ねました。



Eコース まちづくり実践ゼミ 第1回 9/17(木)

桐山法子氏(避空間工房)／河合節二氏(野田北部まちづくり協議会)／奥田久男氏(住吉ぐるくるバスを守る会)／上山 卓 氏(いきいき下町推進協議会)

「まちをうごかす～自立・持続の身近な工夫～」 まちづくりの事例を通じて、住民主体のまちづくりとは？それを続けるには？を考えます。第1回は、様々な身近な資源を生かし、参加の輪を広げながら活発に活動されている地域の取り組み事例を通じて、まちづくりの自立・持続に向けたヒントを得ました。



Fコース まち歩き実践ゼミ 第2回 10/17(土)

三輪 康一 氏(いきいき下町推進協議会) ほか

「まちをみなおす～団地の再生～」 まちづくり実践ゼミで紹介した地区をふくめ、まちづくりを行っている地域を歩きます。第2回は、様々な取り組みを通じてまちの魅力づくりを進めている北区のひよどり台団地を歩き、地域の方からお話を聞きました。



Gコース まちに刻(きざ)まれた土木を訪ねる 第1回 9/5(土)

八畠 敦 氏(阪神電気鉄道株)

「阪神三宮駅の歴史」 講義やまち歩き等を通じて、神戸のまちの発展や、暮らしを支える土木施設の役割を学ぶ講座です。第1回は、阪神三宮駅の改良工事の現場を見学し、阪神三宮駅の歴史や現在の改良工事の内容について学びました。

「山麓リボンの道」ウォークラリー開催中 11/1～12/31

「山麓リボンの道」の道標に置かれた24のキーワードを集めて応募すると、踏破証明書がもらえます。詳しくは、市政情報室、各区役所、ハローステーション Kobe、まちづくり会館で配布のチラシをご覧ください。

お問い合わせは・・・神戸市景観室(電話：078-322-5490)

※こちらをご覧ください⇒<http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp/matisen/1jouhou/sanrokuribbon/sanroku.htm>

西出・東出・東川崎の空間形成③

空間像研究会の活動 その12

大塚 映二（空間像研究会）

7. 歴史を生かした協働のまちづくり

歴史のあるまちだからといっても、何もしなければ気が付けばただのまちになってしまっていた・・・というのはよく聞く話です。当地区も、とすれば歴史の重みが軽んじられがちな時期がありました。

阪神大震災で慣れ親しんだ町並みが大きく破壊されてしまったことを契機に、「この誇りは歴史だ、これを生かしてこそこのまちづくりだ」ということをあらためて認識し、「自分たちのよりどころはここだ！」と、協働の取り組みが進められていきました。

8. 町家の再生（震災復興）

当地区には昔ながらの町家がたくさんありましたが、震災でかなりが倒壊してしまい、あとに建てられたものの大半はごくふ



つうの住宅でした。西出町の俣野邸も相当のダメージを受けたため、建て替えを考えて建築家の武田則明氏に設計を依頼しました。武田氏は現場を見て、これは大修繕が必要だが、もとの町家を再生しようという提案しました。俣野氏も自宅に愛着を持っていたので、家族会議を開き、建替ではなく、大修繕を決断。こうして、写真のとおり町家の再生が実現しました。俣野邸はその後のまちづくりに大きな示唆を与えるものとなったのです。

9. 「まちなか倶楽部」を自力で建てた！

江戸末期、海の豪商として活躍した高田屋嘉兵衛は西出町に本店を構えていました。当地には顕彰碑くら



いしかなかったの、その記念館を作ろうという機運がまちから出てきました。せっかくなら、自分たちで汗水流して作りませんかという提案を私から行い、当時まちに入って

勉強していた神戸芸術工科大学の学生たちも巻き込んでつくったのが「まちなか倶楽部」です。

資材の調達（構造材は淡路花博パビリオンの再利用）から現場作業まで、かなりの部分を「セルフビルド」で行ったので、地域の方には愛着のある建物となりました。「日本一小さな博物館」です。

10. ポケットパークの整備

地区内には、都市計画道路・湊町線と住環境整備のために神戸市が買収した小さな空き地が点在しています。これらをまちのために有効に使いたいと話合い、いくつかはポケットパークとして整備しました。

写真はその例ですが、ひとつは東出町の「花ひろば」です。密集した住宅地の真ん中で、四季を彩る花が住民たちの手で育てられ、咲き乱れるのを見るのは楽しいものです。



もうひとつは、東川崎町の「横溝正史生誕の地の碑」を中心とした



ポケットパーク整備です。横溝正史が東川崎町の出身であることは一部には知られていましたが、地区内にこれといった名残は存在しなかったため、生誕100年（2004年）を機に、新たにモニュメントが計画されました。設計は俣野邸と同じく武田則明氏。メビウスの輪が二つ重なっており、「複雑に絡み合った難事件が、名探偵により見事に解決する」横溝ワールドをイメージしています。

震災後から約10年の間に、このような事業がたて続けに行われたことは、歴史に裏打ちされたまち空間の魅力と潜在的な住民パワーの噴出を感じさせます。

（次回④は、空間を活かしたイベントの紹介です。）

発信！！まちセン研究ネット⑤ プランナーズネットワーク神戸

◇沿革：私たちの活動の始まりは、1997年の夏、阪神・淡路大震災からの復興のただ中で、各地で復興事業が検討され、自力再建もようやく始まりかけた頃でした。私たちの多くは、コンサルタントや行政などに勤め始めて数年目の若手で、師匠筋が開催する勉強会等で下働き要員としてしばしば顔を合わせていました。そんなつながりから、同世代で勉強会を始めてみよう、ということになり、「プランナーズネットワーク神戸」の活動がスタートしました。

勉強会やそこから派生した各種研究会とともに、初期の活動での特筆すべきものは、「錯乱のNEW KOBE展」でした。数ヶ月間を費やして、灘区・東灘区の激甚被災地のすべての道を踏破、復興途上の特異なまちの姿を記録しまとめ、東京、京都、埼玉、松江など全国各地で展示会を開催したのでした。その後も多様な活動が続き、「ネットワーク」のメ

ンバーは、神戸まちづくりワークショップ研究会、神戸まちづくりアーカイブプロジェクト等、他の研究会の創設にも加わってきました。

◇近況：近年になり、「ネットワーク」の中の有志の皆さんは、震災後10年目以降のまちの姿をとらえるため、再び（元）激甚被災地の現況を確認し、その成果をまとめ、新しい視点で各地のまちづくり団体と連携を取って来ています。

当初「若手」と呼ばれた私たちも、今ではもはや中堅（中年？）の域に達しつつあり、それぞれの仕事に追い回されるようになってきました。単なる研究や情報交換だけではなく、具体的な実践の場で連携し合うことも増えてきました。これからも、各自がもつ領域の中での活動で、必要に応じて協力し合う、極めて「ゆるい」ネットワークとしてのあり方が続いていくものと思われまます。（松原永季）

まちづくり会館 展示のお知らせ

1階オープンギャラリーの予定

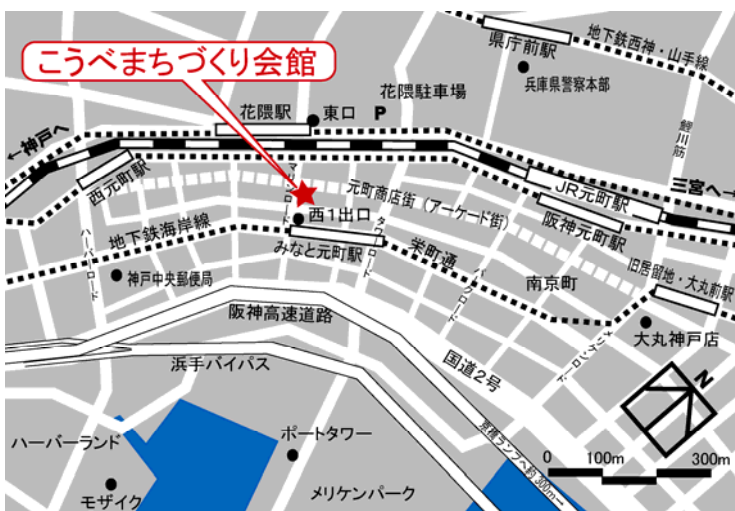
期 間	テーマ・内容	主 催 者
11月	神戸建築物語まちかど写真展	神戸市都市計画総局／こうべまちづくり会館
12月	(～12日) 市民花壇コンクール入賞作品展	神戸市公園緑化協会
	(15日～) 悪質商法・生活情報センターパネル展／下水道の適正利用・こうべバイオガス	神戸市民参画推進局／建設局
1月	空から見た震災復興写真展	都市計画総局地域支援室

※展示期間が変更になる場合があります。

地階ギャラリーの予定

期 間	テーマ・内容	主 催 者
10月30日(金) ～ 11月3日(火)	第27回 神戸帆船模型の会 展示会<帆船模型>	神戸帆船模型の会
11月5日(木) ～ 11月10日(火)	水彩グループ舞子 作品展	水彩グループ舞子
11月12日(木) ～ 11月24日(火) ※18日(水)は休館です	企画展 ～旅する洋画家～ 長尾 和 展	こうべまちづくり会館
11月26日(木) ～ 12月1日(火)	神戸写遊会 写真展	神戸写遊会
12月4日(金) ～ 12月8日(火)	「キルト♡マインド」パッチワークキルト作品展	宮本純子
12月10日(木) ～ 12月15日(火)	彩風会 スケッチ展<水彩>	彩風会
12月17日(木) ～ 12月22日(火)	第3回川崎重工グループ絵画展<油彩水彩等>	川重絵画同好会

※初日、最終日は展示時間が変更になる場合があります。



こうべまちづくり会館

開館時間：午前10時～午後6時（水曜日休館）

場 所：元町商店街4丁目西端の南側角

地下鉄海岸線「みなと元町駅」西1出口から北へ1分

神戸高速「花隈駅」東口から南へ3分

「西元町」東口から東へ5分

JR・阪神「元町駅」西口から西へ8分

〒650-0022 神戸市中央区元町通4丁目2-14

電話：078-361-4523 FAX：078-361-4546

ホームページ <http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp>

コミュニティ相談センター（まちづくり会館4F）

自治会の会報等の印刷サービス、運営等の相談

受付：午前10時～午後6時（水曜日休館）

ただし、印刷は5時まで

電話・FAX：078-361-4565